

エイジフレンドリーシティ 行動計画ワークショップ

テーマ1 身近なエイジフレンドリーを考える(商い・人・まち)

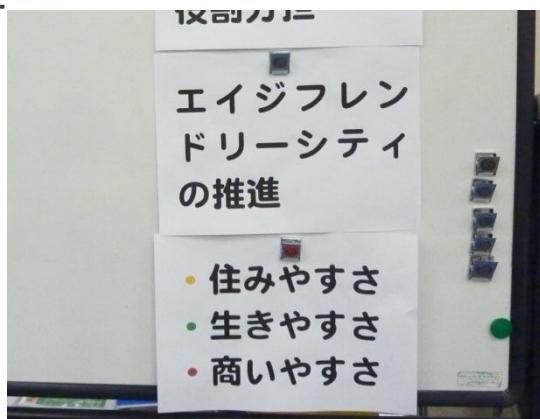
かわら版

第5回

日時:平成24年11月19日(水) 午後6時30分～午後8時
会場:ねぶり流し館 4階 練習室
進行:NPO法人あきたNPOコアセンター
主催:秋田市

当日の流れ

- 6:30～ 開会
4回目のふりかえり
- 6:40～ 意見交換
「前回の案の整理と
情報共有」
- 7:10～ 意見交換
「グループ毎の
行動計画案の具体化」
- 7:45～ グループ発表
- 8:00 終了



事業案の整理と情報共有

前回の通町・大町の特性を活かした、意見出しをしたエイジフレンドリーシティへの具体的な行動計画の2案、「**お店の裏側が見える1日店長**」と、「**街のコンシェルジュ**」。2つの案について、ファシリテーターの進行のもと全員で意見交換をして、不明な点などを確認、質問し合いながら整理をしていきました。

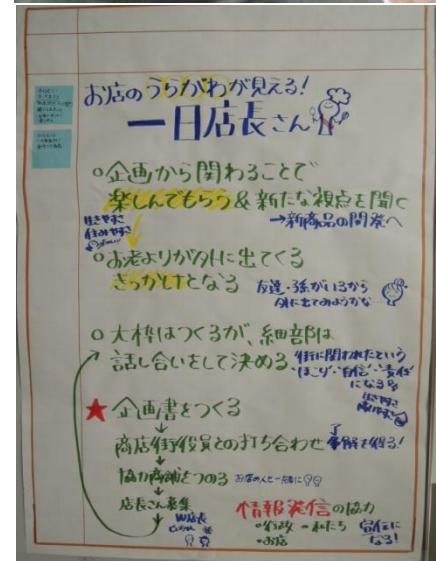
また、これまで出たすべての事業案を再確認した後ワークショップの第1部会として、上記の2つの行動計画案をもとに企画をすすめて行くことを合意し共有し合いました。

事業案を精査し、実効性のある内容へ

再びグループに分かれ、それぞれの事業案を精査し、より実効性のある内容へと意見交換を行いました。前回ファシリテーターから提示のあった「**6W1H**」。「いつ・どこで・だれが・だれに・なにを・どのように・どうして」をベースにすることで、アイデアが具体化されていくとともに、検討すべき部分も見えてきました。

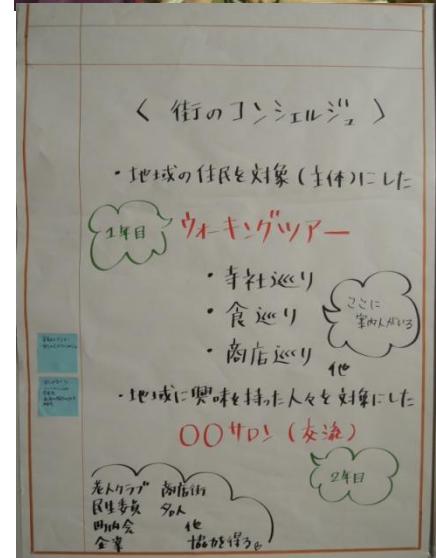
●「お店のうらがわが見える！1日店長さん」

- ・企画から関わってもらうことで、**楽しんでもらう&新たな視点**を聞くことができる→新商品の開発へ
→生きやすさ・住みやすさ
- ・お年寄りが**外に出かけるきっかけ**となる
→友だち・孫がいるから外に出てみようかな…
- ・大枠はつくるが、細部は話し合いをして決める
→街に関わられたという**ほこり・自信・責任**になる。
→生きやすさ・商いやすさ
- ・企画書をつくり、商店街役員との打ち合わせ。協力店をつのり、定員を募集。
- ・情報発信について、ワークショップのメンバー・行政・お店が協力。



●「街のコンシェルジュ」

- 地域住民を対象に
・1年目…**ウォーキングツアー**
→神社巡り・食巡り・商店街巡り 他
→このツアーに案内人がいる
- 地域に興味を持った人を対象に…
・2年目…**〇〇サロン(交流目的)**
- ・協力要請…老人クラブ・商店街・民生委員・町内会
企業・名人 他



「**エイジフレンドリーシティ**」ってなんだろう??。言葉の理解からスタートした本ワークショップも次回でいよいよ最終回。みんなが想う「エイジフレンドリー」な街の姿が明らかになってきました！しかし、計画が決まってからが本番のスタート。そんな「おわりのはじまり」の最終回は年明けを予定しております。皆さままた元気にお会いいたしましょう♪